

2011年(平成23年)度 第3回 理事会議事録

. 日 時 : 2011年9月15日(木) 19:00~22:30

. 場 所 : 神奈川県作業療法士会事務所

. 理事会定数(出席12名、委任5名)

出席理事: 佐藤、澤口、中西、福留、奥原、小峰、木村、机、三浦、作田、原、浅井

委任理事: 渡邊、錠内、野々垣、富山、鈴木、

出席監事: 清宮、長谷川

その他: 鴻井(神奈川県臨床作業療法大会大会長)名古屋、金山、芳賀(事務局書記)
松本(広報部ニュース班)

. 議長団選任

議長: 佐藤副会長

副議長: 澤口事務局長

議事録署名人: 佐藤副会長、清宮監事、木村理事

. 配布資料

各・委員会より理事会資料

事務局/財務部/学術部/教育部/広報部/地域リハビリテーション部/福利部

ウェブサイト管理委員会/学会評議委員会/企画調整委員会/社会保障制度対策委員会/

. 回覧資料

「言語くん自立編」新発売と無料お試し受付のお知らせ

株式会社アローウィン「ビデオ・DVD教材案内」

OT協作業療法マニュアル普及のお願い(別刷り見本)

第16回医療健康フェスティバル チラシ

第30回病院学会 チラシ

. 第1回神奈川県臨床作業療法大会(鴻井大会長)

1. 第1回神奈川県臨床作業療法大会の進捗状況 について

1) 場所について

未定。神奈川県総合医療会館は予約済。神奈川県立大の講堂と横浜市大シーガルホールも検討中。

2) プログラム概要

案1~3が提案され、大会後に総会を行う案1に決定する。一般公演は福島学院大学 星野義彦先生に「大人の高次機能障害」を予定している。以下の内容の記載方法は検討する。a ランチョンセミナーは協賛社が提供してくれること、b 大会と総会は別であり、大会に定員はあるが総会はみな参加できること。

3) 演題募集方法について

「企画書登録フォーム」を用いて、応募しやすくする。

4) 参加費について

受付業務簡略化を狙い事前入金を取り入れる。当日申込みの場合、会員証を提示する必要があるか。引き続き検討する。

5) 新入会員の扱い

例年当日受付で会員扱いとしている。事務局と検討する。

. 報告事項

1. 財務部(佐藤副会長代読)

1) 会費振込用紙発送

8月末日に会費納入を確認できなかった会員に対し、コンビニ決済振込用紙を郵便再送した(454通)。

2. 学術部 (福留理事)

1) 講習会開催報告

2011 年 7 月 24 日(日)分野別講習【精神障害分野】

テーマ：地域生活を支える ACT の実際 講師：菅沼映里(OT)

場 所：川崎市北部リハビリテーションセンター 参加費：2,000 円 参加者：21 名

2011 年 7 月 30 日(土)生涯教育講座【職場管理者養成講座】

テーマ：臨床でのリスク管理 講師：中村浩明 (PT)

場 所：ウィリング横浜 参加費：無料 参加者：65 名

2) 講習会開催予定

2011 年 9 月 17 日(土)分野別講習【身体障害分野】

テーマ：高次脳機能障害の基礎 講師：早川裕子(横浜市立脳血管医療センター：OT)

場 所：ウィリング横浜 参加費：2,000 円 参加予定者：131 名

2011 年 11 月 12 日(土) 分野別講習【身体障害分野】

テーマ：上肢機能の基礎から応用 講師：鴻井建三(横浜市立大学附属市民総合医療センター：OT)

場 所：横浜市大市民総合医療センター本館 3 階リハビリテーション部 参加費：3000 円

2011 年 11 月 19 日(土) 分野別講習【精神障害分野】

テーマ：認知症について 講師：佐藤良江(曽我病院：作業療法士)

場 所：横浜 YMCA 学院専門学校 参加費：2000 円

2) 学術誌関連

テーマは『教育』とし、卒前教育と卒後教育の 2 題を依頼予定。

その他論文については 5 題の予定。投稿論文募集と編集員が 4 月神奈川県学会発表の抄録よりいくつか推薦していく。

3) 研究助成：以下 2 題の申請があった。

研究課題：『身体障害作業療法における実態調査』

研究代表者：友利幸之助(神奈川県立保健福祉大学)申請された経費：200,000 円

書類審査と合議審査のもと承認

研究課題：『重症心身障害児施設の入所者に対する作業療法の介入に関する研究』

研究代表者：杉山いずみ(小さき花の園)

研究・実践の独創性・新規性の項目において、研究者が同じような発表をしていた為ヒアリングを実施し、現在再提出をお願いしている。

3. 教育部 (奥原理事)

1) 研修会開催報告

第 1 回現職者共通研修(6 テーマ) 参加者数 延べ 302 名

2011 年 9 月 3 日(土)・4 日(日) 場所：横浜リハビリテーション専門学校

「作業療法生涯教育概論」 講師：奥原孝幸(昭和大学): 57 名

「保健・医療・福祉と地域支援」 講師：机 里恵(横浜リハビリテーション専門学校) 54 名

「作業療法の可能性」 講師：錠内広之(日本鋼管病院): 58 名

「事例検討方法論」 講師：長雄眞一郎(神奈川県立保健福祉大学) 47 名

「日本と世界の作業療法の動向」 講師：長谷龍太郎(神奈川県立保健福祉大学) 45 名

「作業療法における協業・後輩育成」 講師：鈴木孝治(国際医療福祉大学小田原保健医療学部): 41 名

2) 研修会開催予定

事例報告登録制度に関する研修会

2011 年 11 月 23 日(水・祝) 10:30~12:00 場所：ウィリング横浜

講師：石川隆志(OT 協会学術部学術委員会委員長・秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻准教授)

*午後からは同会場にて第 2 回現職者共通研修を行う予定。

4. 広報部（小峰理事）

（1）対外広報班

1）活動報告

YOTEC（福祉機器展：パシフィコ横浜）でのブース出展：7月22日（金）・23日（土）

OT協会作業療法推進活動パイロット事業（当会地域リハ部が事業主体）への広報協力：7・8・9月

2）今後の活動予定

OTフォーラム（OT協会事業部主催）での協力依頼 ブース出展を行う

2011年9月25日（日）12：00 - 16：00 場所：日石横浜ホール

OTの日（9月25日）ポスターについて

OT協会からOTの日ポスターが配布された。近隣病院・施設への周知とポスター配布をお願いする。

医療専門職連合会広報部会への参加

2011年11月10日（木）18時30分～ 場所：神奈川県放射線技師会事務所

内容：連合会広報誌の記事内容を検討

3）下半期活動計画：対象ごとに啓蒙・啓発活動を行う。

学生への啓発活動：高校・予備校へのパンフレット送付

一般市民への啓発活動：ラジオ出演（平成24年1月末予定）

関連職種への啓発活動：他団体への学会参加・ブース出展

啓発ツールの作成：県土会パンフレットの改訂（10月以降始動予定）

（2）ニュース編集班

1）発刊報告

号	発行月	掲載原稿 締め切り	封入チラシ 締め切り	主な記事
150	7月末	発送終了		
151	9月末	印刷・発送作業中		
152	11月末	10月10日	11月10日	
153	1月末	12月10日	1月10日	
154	3月末	2月10日	3月10日	総会案内

2）神奈川県言語聴覚士会（仮称）への協力について

・県土会ニュース151号に県内STに向けてのチラシを同封予定。

5. 福利部（佐藤副会長代読）

1）新入会員オリエンテーション&歓迎会報告

日時：2011年9月3日（土）現職者共通者終了後 16:15 - 18:00

場所：横浜リハビリテーション専門学校地下1階

参加者：42名（新入会員28名・理事8名・福利部6名）

今年は参加者が例年になく少なかったが、参加者同士の交流は図れていた。また新入会員が積極的に理事と関わる場面が多く見られていた。

2）職場見学会（身体障害分野）実施予定

日時：2011年11月18日（金）19:00～

場所：ふれあい平塚ホスピタル

講師：村中準一郎（作業療法士）

定員：20名

6. 地域リハビリテーション部（木村理事）

1）広報紙への記事掲載

151号 見開き1P記事掲載

2）研修会開催報告・開催予定

第2回訪問リハビリテーション実務者研修会

日時：2011年8月20日（土）21（日）

場所：横浜リハビリテーション専門学校

参加者：OT31名、PT50名、ST3名 計84名

OT・PSW 合同研修会（第7回地域リハ勉強会）

日時：2011年9月18日（日）

場所：ウィリング横浜

参加予定者：OT18名

第1回訪問リハビリテーションクラブ研修会（仮）

日時：2012年2月5日（日）

場所：未定

OT協合作業療法推進活動パイロット事業「神奈川県内におけるALS者のコミュニケーション障害に対する、当事者、作業療法士、その他医療・福祉関連職からなる支援体制整備」講習会

全日程終了 参加者：39名（昨年度78名） 後日アンケート結果を報告。

3) OT協会より受託し、実施した作業療法推進活動パイロット事業について

機関紙「作業療法」への掲載依頼（12月号）が協会より届く。

HCRでのセミナー発表（30分程度）：10/7（金）

来年度は年1回の講習会を県土会単独事業として開催する方向で調整中。

4) 「訪問リハ事業所アンケート」経過報告

回収率は低い（30施設）。ウェブサイトから施設情報掲載の申し込みができるようにウェブ管に依頼し、すでに掲載済み。

5) 「認知症作業療法実態調査（アンケート調査）」スケジュール

9～10月中全施設にアンケートを配布、11月末データの解析、1月結果をニュースに掲載結果をこれからの活動に反映する。

6) 「特別支援学校を中心としたタウンミーティングの有効性の調査」

日時：2011年12月3日（土）13:00 - 16:00、2012年3月10日（土）13:00 - 16:00

会場：相模原中央支援学校（緑風園跡地）

参加対象：近隣に勤務あるいは在住のOT

内容：養護学校のOTの状況を報告、地域連携に今後必要な取り組みなどをディスカッションする。

* 応募は少ない。まだ時間があるので広報など努力していきたい。対象を広げる可能性あり。

7) ウェブサイトに地域リハ部の総合コンテンツを作成中

訪問リハ事業所の紹介、過去のニュース記事、アンケート結果、リンク集・・・など掲載予定。

7. 福祉用具委員会（机理事）

1) 講習会予定

『平成23年度「PT・OTスキルアップ研修」』

日時：2011年12月4日、1月8日、2月5日（計3日間）

場所：横浜リハビリテーション専門学校、ウィリング横浜 * 現在講師調整中

『自助具講習会』

日時：2012年1月8日（日） 場所：神奈川県民センターともしび（予定）

『車いすシーティング』

日時：2011年11月26日（土）27日（日） 場所：横浜リハビリテーション専門学校

講師：木之瀬隆（日本医療科学大学保健医療学部） 亀ヶ谷忠彦（群馬大学医学部保健学科）

* ~ までチラシにして、ニュースに同封する。

2) 第38回国際福祉機器展 H.C.R.2011(10/5～7:東京ビックサイト)について

ブース運営協力について

会員に対して別紙のチラシを配り、協力を依頼した。現在、委員以外で11名の申し込みがあった。また千葉県土会（1名）にも依頼をし、ブース運営の協力を得ている。千葉県土会は次年度の運営協力が出来るよう前向きに検討中。

セミナーについて

日時：2011年10月7日（金）13時30分～ 場所：会場A パシフィックサプライ

「ALS者のコミュニケーション障害への支援体制整備」木村理事（神奈川県作業療法士会）30分

「OT協会のIT機器レンタルの取り組み」田中氏（東京都作業療法士会）

現在使用物品の手配中。

一般者向けブース運営について

テーマ：「作業療法士は対象とする方の道具と適合を図る」

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 2011 年度第 3 回理事会議事録
「意志伝達装置」「環境制御装置」の適合をブースに機器を置き、実際に評価から設置にいたる
流れを実演とともに OT の役割や関わりのポイントを実演していく。

1 日 4 回 (1 5 分 / 1 回) の予定。

配布物について

神奈川県士会では福祉用具委員会で作成した事例集と県士会パンフレットを配布予定。

8. 社会保障制度対策委員会 (三浦理事)

1) 介護保険制度利用の情報伝達について

神奈川県理学療法士会介護保険部から、来年 2 月に講習を行うので一緒にどうかと誘いを受けている。

日時：2012 年 2 月 26 日 (日) 9 : 30 - 12 : 30 場所：ワールドポーターズ 6 階イベントホール A

「平成 24 年介護報酬改定について」深井氏 (神奈川県高齢施設課)

「平成 24 年介護報酬改定の考え方 (仮)」岡野英樹氏 (霞ヶ関南病院 コミュニティケア部副部長 理学療法士)

定員：198 名

検討事項とする。

9. ウェブサイト管理委員会 (作田理事)

1) 県士会サイトの管理とアクセス件数

昨年度と比較して、更新件数は増加しているものの、アクセス件数は減少していた。8 月下旬の「講習会・研修会」掲載ページのリニューアルにともない、プレビュー数が増加した。

2) 「講習会・研修会」掲載ページのリニューアルについて

8 月 21 日に「講習会・研修会」掲載ページのリニューアルが終了した。狙いは、閲覧者の利便性 (カテゴリー表示、開催月別表示など) の向上と、掲載作業の簡便化 (掲載依頼：入力フォームの導入) にある。

10. 学会評議委員会 (原理事)

1) 第 1 回神奈川県臨床作業療法大会 について

「神奈川県臨床作業療法大会長」の公印 (新調) が完成した。第 7 号印となる。

2) 第 14 回神奈川県作業療法学会について

次回理事会に学会長出席予定 (菅原氏) 概要及び進行状況報告。

3) 「学会規程」「学会記録集」

次回理事会にて報告及び審議予定。

11. 事務局 (澤口事務局長)

1) OT 協会関連

平成 24 年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度募集について

募集開始通知があり、県士会 HP に掲載。募集期間が終了したが問い合わせなし。

「作業療法マニュアル No.39-No.48」普及依頼について

別刷りが事務局に届く。理事 ML にて閲覧の呼びかけを行った。会員より問い合わせなし。

平成 23 年度 生涯教育制度推進担当者推薦依頼 (教育部生涯教育委員会) について

各県士会より 1 名を推薦、協会と士会の生涯教育に関する連絡窓口および現職者共通・選択研修推進、年 1 ~ 2 回の生涯教育制度推進担当会議 (仮) への出席を行う。委属期間は平成 24 年 3 月 31 日まで。教育部担当理事の奥原理事を留任として手配済み。

2) 庶務関係

賛助会員規定を県士会サイトにアップするために原稿を作成中

震災にあたり会費免除の件も県士会サイトに UP するために原稿を作成中。

3) 渉外関係

第 16 回医療健康フェスティバル (主催：神奈川県保険医協会) 後援依頼について

日時：2011 年 10 月 10 日 (祝・月) 13 : 00 - 16 : 00 場所：新都市プラザ 理事 ML にて承認済み。

横浜市まちづくりセンターよりリーフレット「みんなにやさしい横浜の住生活モデル事業」配布依頼

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 2011 年度第 3 回理事会議事録
理事 ML を通じ会員への周知を呼びかける。研修会・講習会会場にも置く。

「住宅改修ガイドブック」(社団法人かながわ福祉サービス振興会)編集委員会開催について

日時: 2011 年 9 月 2 日(金)15:00 - 16:30 場所: 波止場会館 4 階小会議室 B 出席者: 錠内副会長
医療専門職連合会定例理事会報告

日時: 2011 年 9 月 7 日(水)18:30~ 場所: 放射線技師会事務所 出席者: 渡邊会長

次年度の役員改正で当県士会が会長(任期は 1 年×2) 事務局は現行の放射線技師会が継続するため、
当会事務局との連絡方法を決める必要がある。

病院医療関係団体連絡協議会の開催準備進捗の報告

日時: 2011 年 10 月 21 日(金)

15:00~16:00 場所: 県庁第五会議室(県側との意見交換)

16:30~18:00 場所: 英一番館(協議会団体のみで意見交換会・懇親会)

県側の出席者: 黒岩祐治知事、古尾谷光男副知事、中沢明紀参事監兼保険医療部長、
木村博嗣地域保健福祉部長、石村幸夫生活衛生部長

当会出席者: 三役(協議会の司会: 会長、副会長、書記: 事務局長)

運営(県士会事務局専従職員および事務局員)

開催通知: 開催告知(7/11 付) 県側の出席予定者の紹介や提出文書のお願ひなど(9 月上旬)

* 昨年のもを参考に配布した。加筆・修正など意見を県士会事務局まで。

提出文書: 各団体からの集約も県士会事務局が担当する

構成団体の概要(12 団体分) 出席者名簿(12 団体分) 各団体役員名簿(12 団体分)

その他、各団体で任意 県士会としての事務局にて資料作成済み。

医療専門職連合会主催公開セミナー開催について

日時: 2011 年 10 月 21 日(金)19 時~「放射線の人体への影響~知っておきたい知識~」

場所: かながわ県民サポートセンター402 号室

講師: 吉田篤史氏(診療放射線技師: 川崎市立多摩病院)

参加費: 無料

・検討事項

1. 財務部(佐藤副会長代読)

1) 平成 23 年度上半期監査について

11 月 3 日(木・祝)に実施する。各部・委員会は監査準備を行う。 承認

2. 学術部(福留理事)

1) 部員の承認

片岡直人(新戸塚病院) 承認

3. 広報部(小峰理事)

1) 部員の承認(対外広報班)

佐藤 準(さがみりハビリテーション病院) 承認

2) 企業の広告・チラシ封入の件

弊社より、「福祉車両展示会のお知らせ」の広告を紙面掲載またはチラシ封入したいとの依頼があった。過去に 1 社よりチラシの封入依頼あり実施(1 枚 10 円: スカパー)。県士会ニュースの広告は現在、求人のみ取り扱っており、1/4 スペースで 4,000 円。事務局としては賛助会員の特典としたい(OT 協会 第三種郵便のため企業広告は NG。県士会ニュースは宅急便を使っているため可能)

賛助会員基準を明確にし、貴社には賛助会員を薦めていく。詳細については事務局と広報で調整することで承認

4. 社会保障制度対策委員会(三浦理事)

1) 年度計画に無かった上記講習会の開催の可能性について

新規提案の場合は補正予算を組み、議案として提出する。報告事項で提案された神奈川県理学療法士会との合同研修会を踏まえ、再検討する。詳細は次回の理事会で報告。

5. 企画調整委員会（浅井理事）

1) 代議員制導入についての検討

代議員制導入に向け、各理事の意見を確認する。各理事の意見は下記。

代議員制導入に向け、まずはブロック化を進めていく。ブロック化を進めることで地域のつながりが密になるメリットがある。しかし、ブロック化を行っている他県の例をみるとブロック地域ごとに小さな県士会ができる可能性がある。地域ごとに興っている SIG との違いも明確にする必要あり。理事 ML で各理事の意見を確認しながら、事務局と連携し進めていく。広報とも連携しブロック化、代議員制のメリットをニュースに載せていく。

（各理事からの意見：順不同）

- ・総会の出席率を考えると取り入れたほうがよい。
- ・まずは、社員（会員）教育をしっかりとやるべき。会員が希薄になる。勉強会に出るためだけにお金を払うような感じがある。
- ・代議員+他の人も参加してもらおう。
- ・ブロック（地区）分けすると、一般会員の繋がりが出来る。・・・地域の活性化につながる。
- ・代議員制度の前に入会する段階で「なんでこういう組織があるのか」県士会の働きをしっかりと伝えるべき。
- ・経験 5～10 年の OT が県士会の活動についてよく知らないのでは。
- ・代議員制をとることで中間的な役割をとることが出来る。
- ・ブロック化することで「ミニ県士会」が出来る 活動性は上がるがお金や事務的なことが大変。
- ・そもそも、ブロックと代議員制はセットでいいのか？ ブロックで会議が必要になる。
- ・代議員制があると総会が成立する。 やっている人だけが内容を把握しているのが実際のところ。
- ・一人ひとりの会員がもっと参加する仕組みを理解することが大切。会員は代議員制についてよく分からない。 会員に何をやっているのかをきちんと伝えるべき。総会だけのために作るとしたらもったいない。
- ・基本的に県士会で何をやるのかインフォメーションしていく必要がある。県士会に入っていない若手の OT が多い。
- ・会が大きくなってくると大変（5 年未満の経験年数の OT が 50% 以上）
- ・OT 協会でも 10 年以上の経験年数の OT が辞めている。 入会してもメリットが少ないと感じてしまう。
- ・前向きに代議員制を検討していく。
- ・総会はどうするのか。不成立になる。
- ・参加意識を持つために必要なのでは？
- ・代議員制が総会の為だけだと、空洞化する。
- ・代議員は県士会の運営を「第三者」として判断するところ。総会成立のために導入するのであれば検討したほうがよい。代議員制と組織化は分けて考える。
- ・正会員 代議員制（ブロック化）- 理事という階層ではなく、個人 ブロック化 or 職場 理事という階層を代議員が見守る、というスタンスが正しい代議員制。
- ・代議員制が導入された場合、議決権はないが正会員の参加も可能な OPEN 総会とする。このようにすることで県士会活動離れを防ぐ。

7. 事務局（澤口事務局長）

1) 新部員の承認（3 名） 承認

河野 圭介（小林病院）

渡邊 郁美（新戸塚病院）

熊谷 慶子（高田中央病院）

2) 渉外関連

第一回横浜市住宅医療推進フォーラム（主催：横浜市在宅医療推進フォーラム運営委員会より）講演依頼

日時：2011 年 12 月 3 日（土）12：00～16：00 場所：神奈川公会堂ホール

参加費：無料 参加人数：500 名（予定）

共催：全国在宅医療支援診療所連絡会、在宅医療助成勇美記念財団、在宅医ネットよこはま

承認

平成 23 年度神奈川県精神障害者スポーツ（バレーボール）大会当日の役員派遣依頼

日時：2011 年 9 月 30 日（金）9：00～16：00 場所：大和スポーツセンター

内容：ライン審判など

当該部署なく、事務局にて川口敬之氏（北里大学）を推薦 承認

3) OT 協会関連

OT 協会代議員選挙運営委員推薦のお願い

各々が迅速に OT 協会正会員へ伝達する手段を持っているのは現実的には県士会組織のみ。事務局員より金山桂氏（横浜 YMCA 学院専門学校）を推薦 承認。

WFOT 関連・・・世界大会の日程は 2014.6.18 - 6.21 < 4 日間 >

A) WFOT2014 Team Japan 国内組織委員会

日時：2011 年 8 月 21 日（日）10：00 - 12：00 場所：OT 協会事務局

出席：澤口事務局長 内容：参加費の検討クリティカルパスの提案など

指示：各組織はおおまかなパス 9 月までに

* 神奈川県士会が依頼している役割の確認

・大会運営委員会：委員長（渡邊）

・独立採算プログラム：委員長（岩瀬）

事務局内に WFOT 対応チームを作ることを提案する。構成員は事務局員とする。

（意見）委員は本来、OT 協会 WFOT より任命されるのではないか。

提案は保留とし、次回、提案の詳細を説明する。

4) 災害時の対応について（継続審議）

神奈川県の安全防災施策によると、災害時に県では、知事を本部長とする県災害対策本部の指揮のもと、保健福祉部長を長とする「県医療救護本部」を設置し、救護班の編成・派遣、患者搬送、患者受入調整等の医療救護活動に関する窓口を一元化して対応する。また、医療救護活動では、行政、消防機関、医療機関、関係団体などの関係機関が災害医療情報（傷病者がどこでどれくらい発生しているのか、また支援できる余力はどこにあるのか等）を速やかに共有することが重要になる。そこで、県では、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県病院協会等と、災害時における医療救護班の派遣などについて事前に協定を締結しており、災害時の医療救護に係る応援体制を整備している。

主に応急対応後の行政の動きを神奈川県（安全防災局）に質問し、回答を待っている。

以上をもって審議議案はすべて終了。以下、議事録署名人が確認し記名押印する。

会議終了時間	22 時 30 分
次回の理事会開催日時	平成 23 年 11 月 17 日（木）19 時より
開催場所	一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所 〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町 4 - 45 第一国際ビル 301 TEL / FAX 045 - 663 - 5997

議事録署名人	議長	佐藤直樹	印
	監事	清宮良昭	印
	理事	木村修介	印